

第3回 東京湾・相模湾の港湾における地震・津波対策検討会議 議事概要

日時：平成24年1月26日（木）9：30～11：30

場所：AP東京八重洲ビル

○今回は、津波想定のために実施したシミュレーションの結果や基本方針（案）について、事務局からの説明をもとに意見交換を行うとともに、地震・津波対策に関する課題及び対応策について議論を行った。

○各委員からは、以下のような議論があった。

- ・基本方針（案）の方向性やトーンについては、了解。
- ・東京湾内には多くの船舶が存在するが、これら船舶が漂流・座礁しないため、漂泊対策等について十分な検討が必要。また、津波来襲時のタンカー等船舶の挙動について把握していく必要がある。
- ・堤外地には、港湾関係及び物流関係の企業が多く立地しているため、「いかに避難するか」について十分な検討が必要。
- ・港湾BCPは関東管内の港湾が全国に先駆け取り組んできており、これまでの取組やその重要性・発展性などについても提示していくべき。

○本日の会議を踏まえ、東京湾・相模湾の地震・津波対策に関する課題・対応策を整理していくとともに、「首都圏の港湾における地震・津波対策の基本方針」の策定に向け検討を進めていく予定。